

図書館だより

令和3年11月発行 第6号 文京学院大学女子中学校高等学校図書館

図書委員会SDGs活動のご報告

読書月間大好評のうちに終了しました☆
たくさんのご利用ありがとうございました！
次回ガチャガチャ大会は終業式頃を予定しています。



本校がビブリオバトル東京都大会に出場しました。

11月21日に令和3年度 高校生言葉の祭典「高校生書評合戦（ビブリオバトル）東京都大会が文京区内で開催されました。

今年度は高校3年生による校内大会を開催し、代表者1名を選出、小説版『薬屋のひとりごと』日向 夏著 をバトル本に出場しました。

決勝まで進出は厳しかったのですが、最後の高校生活において非常に貴重な体験ができたかと思えます。

今年度はバトラーである高校生だけの会場入りとなったので、司書はオンラインで準決勝・決勝の視聴となりました。

壇上で堂々とした振る舞いに、画面越しでさえ圧倒され、僅か5分という限られた時間のなかで、いかに熱く語り、1冊の本を魅了させるか。バトラーの話に引き込まれていく面白さ、「読みたい！」と瞬時に思わせる話術が司書として大変勉強になりました。

筑波大学情報学群 知識情報・図書館学類にはビブリオバトル推薦があります。興味のあるかたは司書にお尋ねくださいね。

昨年度・今年度と続けて開催出来なかった古書市。コロナ禍のなかで「本を愛するものとして、私たちに出来ることはなにか」を考えたとき、ひとつの案が浮かびました。それは、点字図書を必要とするかたへの支援です。1冊の点字図書を作成するには、技術者と、長い時間と、高額な費用が発生します。私たちは読みたい本があると、簡単に手に取って読むことができます。しかし、点字図書を必要とするかたは、思うように読みたい本を読むことができません。

図書委員会で11箱の古書の状態を確認し、すべて古書店に引き取っていただき、学園祭当日の11月5日、8,059円の売上を確認したので、司書2名からそれぞれ1,000円を足し、10,000円を社会福祉法人日本点字図書館に寄付したことをご報告します。

また、11月10日付で社会福祉法人日本点字図書館理事長の田中徹二様から図書委員会へ点字と訳付のお礼状と点字図書館の案内状をいただきました。いただいたお礼状を実際に手に取って見たいかたは、司書にお声かけください。

☆☆☆☆☆ 司書のつぶやき ☆☆☆☆☆

図書館のアン●ンマンはつぶあん（カプセル）です。欲しい景品を出すのに胴体を持ち上げてカー杯振るとこしあんになってしまうのでやめましょう。

